

## 2026年度 入社式 社長挨拶

ニッセイ情報テクノロジー株式会社（社長：岸淵 和也）は、2026年4月1日に入社式を行いました。社長挨拶の主旨は以下のとおりです。

### <歓迎の挨拶>

本日は、118名の新しい仲間をお迎えできたことを心から嬉しく思います。社員全員で歓迎いたします。今日は皆さんお一人おひとりにとって、新たなスタートとなる大切な日です。それぞれにIT業界のプロフェッショナルとして活躍する姿を胸に抱き、この場におられることと思います。ここに集まった同期の仲間たちと力を合わせ、時には競い合いながら、プロフェッショナルへの階段を一歩一歩登って行って欲しいと思います。

### <私たちの目指すもの>

本日から当社の一員となった皆さんへ、まずは、当社が2035年を目途に目指す長期ビジョンについてお話しします。今年度より、10年先を見据えた新たな長期ビジョンがスタートします。

当社の事業領域は、「保険・共済、年金、ヘルスケア」といった“いのちを支える”産業です。私たちはこの領域を「Life Industry」と位置づけています。このマーケットに対して、付加価値の高い「IT」サービスと課題解決力で、最も貢献する企業になる、そうした想いを込めて、私たちは「Life Industry ITのリーディングカンパニー」を実現すべき姿として掲げ、新たなステージへと進んでいきます。

日本生命は生命保険業界のリーディングカンパニーです。新たな商品の開発や、お客様にとってより快適で役に立つ新しいサービスを作り上げていくことは、業界のリーダーとしての責任でもあります。私たちは、そうした保険サービスの提供やITサービス構築の最前線を担っています。そうした保険分野で培ってきた豊富なノウハウを、共済や年金、保険と密接な関係にあるヘルスケア領域にも展開し、日本生命のみならず、「いのちを支える」産業をITの力で牽引する企業としてお客様や社会に貢献することを目指します。

### <ビジョン達成のために>

このビジョンの達成のために不可欠な要素が2つあります。

## 1. 成長し続ける会社であること

1つ目は「成長し続ける会社」であることです。IT企業の成長には、以下のような要素などが求められます。

- 日々進化する技術への迅速な適応
- 新技術を活用したプロダクト・サービスの開発
- DXに取り組むお客様への高付加価値なコンサルティング
- 各分野における高品質なシステム開発力

このことの実現に向けて、スピード感を持ったプロダクト・サービス開発や研究開発基盤への投資を積極的に継続し、成長スピードを更に加速させていきます。

## 2. 未来を支える・社会に貢献するIT人財を育てること

もう一つの重要な要素が、社員一人ひとりの「成長」です。当社では「NISSAY ITアカデミー」組織が、充実した研修体系のもと、社員の成長過程に沿った学びの機会を整備しています。IT技術、保険実務に関することをはじめ、プロジェクトマネジメントなどヒューマンスキルを伸ばさせるカリキュラムをベースとしつつ、日本生命をはじめとしたグループ会社や同業他社との交流機会も提供し、社員の皆さんに楽しく学んでいただいています。

IT業界での活躍には、社内・外へ人脈を広げていくことも非常に大切です。新入社員だからといって遠慮せず、皆さんも積極的に参加して欲しいと思います。全社員が自ら成長し、そのことを通じて、会社も成長するという好循環が生まれるよう、皆さん一人ひとりを尊重し、大切に、ともに成長していきたいと思っています。

### <当面取り組んでいただきたいこと>

当社がこれからも、保険・共済、年金、ヘルスケア領域のデジタル・イノベーションをリードしていくうえで、必要な知識・スキル基礎となるのが「SE力」と「保険実務力」の2つです。

「SE力」とは、アルゴリズムを組み立て、プログラムを作り、テストして、稼働させることであり、全てのITの基本です。システム開発もAI活用等により大きく変化してきており、当社でも先進的な開発手法の研究、実践を戦略的に進めていますが、コードが書ける、テスト工程を熟知しているといった基礎力の重要性は変わりません。こうしたベースがあった上で、AI活用やデータサイエンス、コンサルティングなどにも活躍の場を拡げていくことができます。皆さんには、新入社員研修の中で、Javaのプログラミング実習を受講いただきます。その後、各職場でSEとしての経験を積んでいただきます。この実務期間に、如何に真剣に、そして主体的に取り組むかが、とても重要になってきます。長い社会人生活を支える「宝」になるはずですよ。

もうひとつの「保険実務力」については、社内研修のほか、各職場において、システム開発を通じて業務フローや事務取扱要領も含めた業務知識を習得していただきます。保険商品、事務制度、アンダーライティングなど、保険実務の幅は想像以上に広いものです。一緒に働く日本生命からの出向者の人達からも、保険業界の現場や実態を教えてもらって下さい。

今お話したことは、決して活躍の領域を「保険」のみに限定するものではありません。「ビジネスとシステムを繋ぐ」というSEとしての役割を果たすうえでの基本型を「保険」という領域でしっかり学ぶものと理解し、取り組んで欲しいと思います。

「SE力」と「保険実務力」を基礎力として習得し、ぜひ市場価値の高いプロフェッショナルになっていって下さい。

### <最後に>

最後に、働く際に意識して頂きたいことを2点申し上げます。

1点目は、IT業界では、個々人のスキルも重要ですが、会社としての強さを生み出すのは、「チーム力」だということです。チーム内でのコミュニケーションは、日々の仕事での困りごとを上手く解消するための重要なファクターです。ここにいる同期の仲間たち、職場の先輩社員や上司との積極的なコミュニケーションを常に心掛けてください。

これからは、今までに経験のないことや苦手なことにも取り組まなければならない場面もあると思います。これまでの友人・知人関係とは違う「人と人との関係」も経験すると思いますが、それらの経験が成長に繋がり、そのことを積み重ねることが、社会人として大きく飛躍していくための大切な基礎となります。そのことを意識して、様々なことに取り組んでください。

2点目は、様々なことに取り組むにあたっては失敗を恐れず、自分にとって未知のこと、ニッセイ情報テクノロジーにとって未知のこと、そして世の中にとって未知のことに積極的に、チャレンジして欲しいということです。

私は社会人になって37年になりますが、思い起こすと新人時代から数限りない失敗をしてきました。思い出すだけで、今でも冷や汗がでるようなこともありましたが、振り返りますと、未知のことに挑戦し、何らかの達成感を得たことが次への意欲につながり成長のエンジンとなったことに加え、失敗したときも、大きな学びを得ることができ、同じように成長につながったと感じます。逆に、昨日と同じ今日を過ごし続けていたら、成功も失敗もなく、成長することは無かったと思います。

困ったときは、チームの仲間も助けてくれますので安心して新しいことに挑戦して下さい。

私自身、皆さんのチャレンジを後押しして行きます。

このようなことを通じて、皆さん一人ひとりが元気に前向きに活躍していただけることを楽しみにしています。

それでは、今日から仲間として、一緒に頑張ってください。

以上